

(特非) モンゴル環境情報センター

モンゴル国フブスゴル地域における 環境教育を伴うエコツーリズムの確立

イベントの 延べ参加者数	530 人
イベント参加者 の満足度	80%
活動の全体目標 に対する達成度	70%



観光学科の大学生たちが中学生にグループ学習中

◆成果と工夫したポイント

- 成果** ツアーガイドブックを1,000冊作成。モンゴル国立教育大学生35名にツーリズムに関する講義10時間。中学生・教員を対象に当該地域の環境・文化研修会3回開催。ツアーガイドの養成研修会2回開催
- 工夫** 地元住民との信頼関係の構築。

課 題

当該地域のエコツーリズムの確立は、自然環境と文化遺産を持続的に保護することによって、観光産業が育成され、地域経済の発展に寄与することにある。

活動内容

エコツーリズム協議会が現地に4回開催され、ツアーガイドの養成のための組織作りを行った。また、ガイドブックが完成し、27年10月には日本語版もでき上がった。ガイドブックをテキストとして、モンゴル国立教育大学観光学科の学生に10時間の講義を行い、受講学生30名は当該地区に観光実習として赴き、中学生200名(エコクラブ会員)、教員60名を対象に観光実習として、当該地域の環境・文化を教えた。



トナカイに乗ってツァータン
族調査に向かう

今後の課題

- *エコツーリズム協議会を観光行政の中心として起動させる。
- *ツアー運転手のガイド育成システムの確立。
- *地元中学生30人をツアーガイドとして認定育成。
- *ツァータン部族のルーツの突き止め。